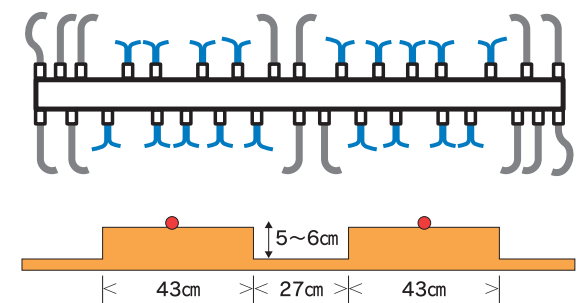


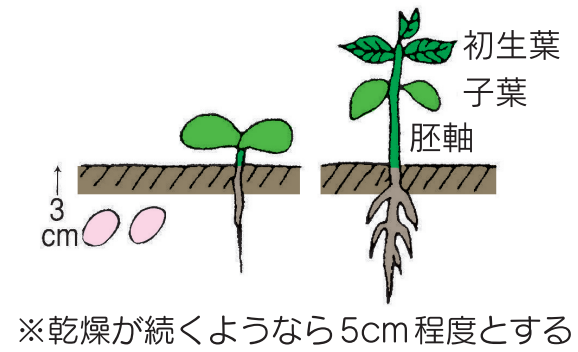
農薬の登録内容は随時更新されますので使用する際は、包装容器や袋に記載されている有効期限および登録内容を確認して下さい。

時期	月	6			7			8			9			10			11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
主な作業		適地の選定			土壌改良剤散布			鳥害防止			種子の準備			耕起・整地			耕起・播種(施肥)			除草剤散布			中耕・培土			中耕・培土			害虫防除			病害虫防除			病害虫防除			青立株採取			成熟期			刈取			乾燥			調製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
作業内容		同一ほ場に、フクユタカ以外黒豆等の品種を作付しない排水良好でかん水の恐れがないほ場			pHの矯正 適正 pH 6.0～6.5、 土づくり 参照			種子消毒 (ハト害・紫斑病) 10 kgに200 ml使用する。 または、キヒゲンR-2フロアブルを種子クルーザーMAXXを種子10 kgに80 ml使用する。			ラウンドアップマックスロード、またはバスタ液剤を使用する。 麦ワラをすき込む。 完全堆肥の施用			播種時期と栽植密度 参照			施肥基準 参照			除草剤基準 参照			2回目 本葉5枚から6枚までに行う。 8月10日頃までに必ず1回は実施する(倒伏防止と雑草対策)。			被害葉を早めに除去する。 ハスモンヨトウのふ化直後の幼虫が群集している白変			ハスモンヨトウの薬剤防除			病害虫防除基準 参照			白変葉が目立ってきたら薬剤による一斉防除を行う。 ハスモンヨトウの薬剤防除			病害虫防除基準 参照			※ハスモンヨトウの発生ほ場は隣接するほ場に被害を与えます。 紫斑病 カメムシ類 ハスモンヨトウ の薬剤防除			葉の裏側に 薬がよく かかるように…			乾燥した時期 成熟期は大部分が落葉し莢を振ると、音をたてる程度に			刈取適期は成熟期7日後から (子実水分16%以下)			青立ち株や雑草は刈取前に抜取る			虫喰粒・異物等を選粒機で除去する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		※収量向上のため、麦ワラは全量すき込みましょう。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

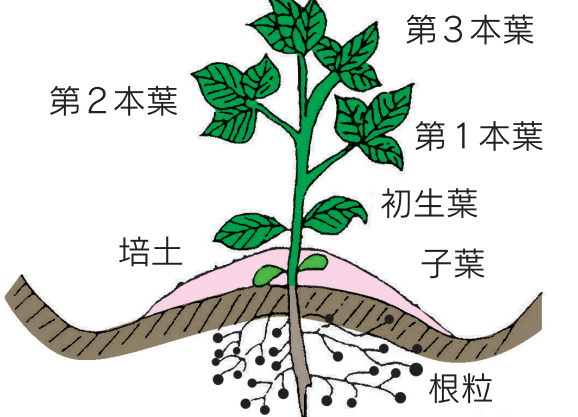
部分浅耕一工程播種



播種・出芽期



中耕・培土



◆播種時期と栽植密度

品 種 名	フクユタカ (1株当たり2粒)	
播 種 期	7月5～20日(適期播き)	7月下旬～(遅播き)
条 間 (cm)	65 cm	
株 間 (cm)	30～20	15～10
10a当り播種量(kg)	3.0～4.0	6.0～8.0

※播種深度は3cm程度が適当であるが、土壌が乾燥している場合はやや深め(5cm程度)にする。
※播種量は適期内で早めの時期は少なめに、遅めの時期は多めとする。

◆土づくり

資材	施用量	備 考	
生 石 灰	100	酸性障害対策、水と反応して発熱する。播種前の2週間前までに施用する。	適正な生育のための pH値 pH6.0 ～ 6.5
炭 酸 苦 土 石 灰	200	酸性障害対策、大豆に必要なカルシウムを含む。	
オイスターミネラル	100～200	酸性障害対策、大豆に必要なケイ酸分、微量元素を含む。	
ミ ネ ラ ル G	160	酸性障害対策、カルシウムのほかケイ酸も含む。	

※土壌の酸度(pH)矯正は、大豆の養分吸収や根粒の活性を高めるために行う。

◆施肥基準

大豆作付条件	肥料名	基肥	成 分 量			遅播は ちくごのめくみ444 を使用する
			窒 素	りん酸	カリ	
一 般	PK化成40号	30	—	6.0	6.0	
遅 播 等	ちくごのめくみ444	20	2.8	2.8	2.8	

※大豆播種は肥料焼けし易いので、播種と施肥位置が重ならないように注意する。

◆除草剤基準

使用時期	除 草 剤 名	10a当り使用量	希釈水量	留 意 点
播 種 前	ラウンドアップマックスロード	200～500ml	50～100ℓ	隣接、周辺の水稲など他作物への飛散を防止する。 ラウンドアップマックスロードは効果を高めるため、出来るだけ100倍希釈する。
	バ ス タ 液 剤	300～500ml	100～150ℓ	
播 種 直 後 ～ 出 芽 前	ラ ク サ ー 粒 剤	4～8kg	—	覆土は2～3cm以上とし、よく整地して鎮圧する。 二重散布にならないように均一に散布する。
	ラ ク サ ー 乳 剤	400～800ml	100ℓ	広葉雑草・イネ科対策 ホオズキ対策：フルミオWDGを5～10g/10a(希釈水量100ℓ)を混用する。但し、フルミオWDG使用後は、タンクやホース、ノズルを専用洗浄剤で洗浄する。
	プロールプラス乳剤	400～600ml	100ℓ	
生 育 中	パワーカイザー液剤	200～300ml	100ℓ	出芽直前～3葉期まで(雑草発生始期～2葉期)
	ボルトフロアブル	200～300ml	100ℓ	イネ科雑草対策(3～10葉期) 但し収穫30日前まで
	大豆バサグラン液剤	100～150ml	100ℓ	アサガオ類対策。大豆2葉期～開花前 但し収穫45日前まで
	アタックショット乳剤	30～50ml	100ℓ	アサガオ類対策。本葉2葉期～開花前、但し収穫45日前まで。 大豆に褐変、白化などの葉害が生じることがある。
	バ ス タ 液 剤	300～500ml	100ℓ	アサガオ等対策(大豆にかからないように散間散布する) 但し収穫28日前まで

※中耕・培土による耕種の防除も併せて行う。

◆品種特性表 (7月15日播種)

品 種 名	開 花 期	成 熟 期	耐 倒 伏 性	10a当り子実重	百 粒 重
フ ク ユ タ カ	8月24日	11月7日	中	339kg	30.9g

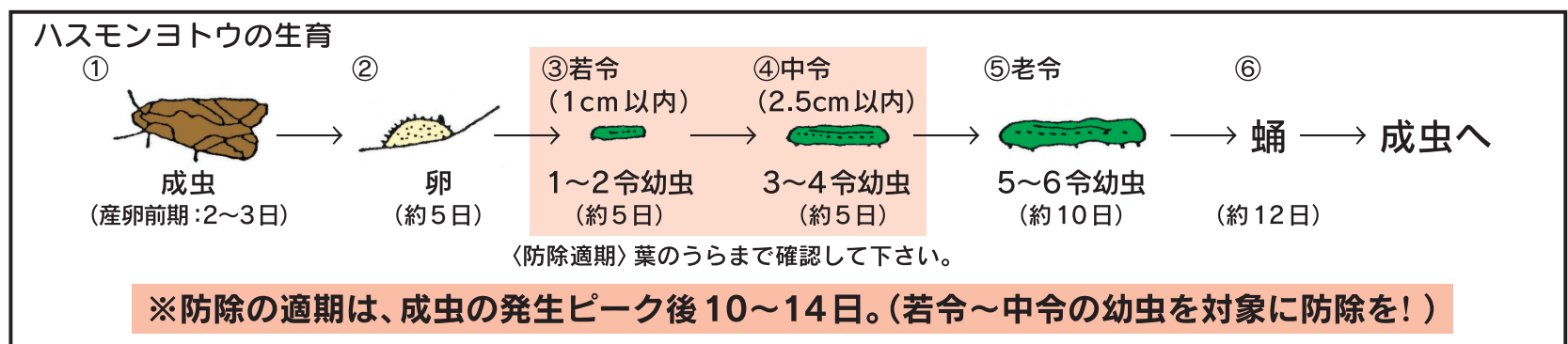
※引用元：開花期、成熟期(現地のデータ)、それ以外(福岡県農林業総合試験場データ)

◆病害虫防除基準

液 剤	時 期	対象病害虫	薬 剤 名	散布濃度	10a当り使用適量	使用回数	使用時期
	8月下旬	ハスモンヨトウ	ブレオフロアブル	1,000～2,000倍	100～300ℓ	2回以内	収穫7日前まで
	9月中旬	ハスモンヨトウ	ブレバソソフロアブル5	4,000倍	100～300ℓ	2回以内	収穫7日前まで
		カ メ ム シ 類	キラップフロアブル	2,000倍	100～300ℓ	2回以内	収穫7日前まで
		紫 斑 病	トップジンM水和剤	700～1,500倍	100～300ℓ	4回以内	収穫14日前まで

ヘリ防除	時 期	対象病害虫	薬 剤 名	散布濃度	10a当り使用適量	使用回数	使用時期
	8月下旬	ハスモンヨトウ	ブレオフロアブル	8～16倍	0.8ℓ	2回以内	収穫7日前まで
	9月中旬	ハスモンヨトウ	ブレバソソフロアブル5	16～32倍	0.8ℓ	2回以内	収穫7日前まで
		カ メ ム シ 類	キラップフロアブル	16倍	0.8ℓ	2回以内	収穫7日前まで
		紫 斑 病	トップジンMソル	5倍	0.8ℓ	4回以内	収穫14日前まで

粉 粒 剤	時 期	対象病害虫	薬 剤 名	散布量(10a当り)	使用回数	使用方法
	播種時～本葉2葉期	ネ キ リ ム シ	ネ キ リ エ ース K	3kg	2回以内	土壌表面株元処理



※作業日誌・生産工程管理チェックシートは別に配布しますので、必ず記帳・提出をお願い致します。